

新規事業採択時評価結果（平成30年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業の概要

事業名	一般国道101号（津軽自動車道） かしわうきた 柏浮田道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：青森県つがる市柏稲盛 至：青森県つがる市木造越水	延長	12.3km		
事業概要	柏浮田道路は、一般国道101号において青森県つがる市柏稲盛から同市木造越水に至る延長12.3kmの自動車専用道路である。（津軽自動車道は、青森県青森市から青森県鱒ヶ沢町に至る延長約38kmの高規格幹線道路であり、これまでに約23kmが供用している。）				
事業の目的、必要性	当該区間の整備により、発生頻度の高い地吹雪や積雪による交通機能の低下が改善され、信頼性の高いネットワークを構築し、西津軽地域と主要な交通拠点との高速道路網を確保し、観光振興・地域産業の活性化、高次救急医療施設への搬送時間の短縮・より安定した搬送の実現により、救急医療活動を支援する。				
全体事業費	約380億円	計画交通量	約9,500台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.2 (1.2)	総費用：309億円 （事業費：274億円 維持管理費：35億円）	総便益：382億円 （走行時間短縮便益：320億円 走行経費減少便益：46億円 交通事故減少便益：16億円）	基準年：平成29年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.1 (交通量 -10%)	B/C=1.4 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.1 (事業費変動 +10%)	B/C=1.4 (事業費変動 -10%)	
	事業期間変動	B/C=1.1 (事業期間変動+2年)	B/C=1.3 (事業期間変動-2年)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	高盛土と防雪柵の連続設置や主風向に対応可能な別線が整備されることにより、地吹雪による視程障害の減少や冬期交通環境の悪化による渋滞箇所を回避する ・主要渋滞箇所の回避 【現況】 主要渋滞箇所 3区間 ⇒ 【整備後】 0区間	
		事故対策	-	注目すべき影響はない	
		歩行空間	-	注目すべき影響はない	
	社会全体への影響	住民生活	◎	第三次医療施設への速達性が向上 ・鱒ヶ沢町から第三次救急医療施設（県立中央病院）へのアクセス時間が短縮 【現況】 通常期62分 冬期72分 ⇒ 【整備後】 通常期55分 冬期60分	
		地域経済	◎	最大の交通拠点である青森市方面からの周遊観光の広域化が見込まれ、西津軽地域の観光振興を支援	
		災害	-	注目すべき影響はない	
環境		-	注目すべき影響はない		
	地域社会	◎	速度向上や事故率低減など、交通環境の改善・輸送効率向上により、地域の産業振興に貢献		
事業実施環境		○	整備に対する要望が強い		

採択の理由

費用便益比が一体評価で1.2、個別評価で1.2と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、地吹雪や積雪による視程障害の改善、観光振興・地域産業の活性化、救急医療活動の支援等、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※B/Cの上段の値は浪岡IC～鱒ヶ沢ICを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果

関係する地方公共団体等の意見

【青森県知事】
予算化に同意する。産業の発展や観光の振興に大きく寄与するとともに、災害時における代替機能を有する重要な路線である。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

- 費用対便益：便益が費用を上回っている。
- 手続きの完了：計画段階評価手続き完了（H29.3）

新規事業採択時評価結果（平成30年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
<p>当該区間の整備により、発生頻度の高い地吹雪や積雪による交通機能の低下が改善され、信頼性の高いネットワークを構築し、西津軽地域と主要な交通拠点との高速道路網を確保し、観光振興・地域産業の活性化、高次救急医療施設への搬送時間の短縮・より安定した搬送の実現により、救急医療活動を支援するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は県都青森市と日本海側地域を結ぶ、唯一の緊急輸送道路。 西津軽地域周辺は第三次救急医療施設がなく、重篤患者は青森市内や弘前市内へ搬送しているが、県内でも搬送時間を要している。 	<p>※東北圏広域地方計画（H28.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害リスク低減のためにハード対策として、緊急輸送道路の強化、格子状骨格道路ネットワーク整備等を推進。 第三次救急医療機関の60分到達圏から外れる地域が多い圏域内の救急搬送を支援するため、津軽自動車道、上越魚沼地域振興快速道路等の必要な整備を始めとする格子状骨格道路ネットワークの構築やインターチェンジ・救急車退出路・アクセス道路等の整備を推進する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は、東北の日本海側の中でも吹雪の発生頻度が高い区間で冬期（吹雪時）は旅行速度が20km/h台まで低下。 冬期交通環境の悪化により地域住民は、通勤・通学時間の遅れなど、日常生活に支障をきたしている。 	<p>※東北圏広域地方計画（H28.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 東北圏においては、東北圏特有の地勢や冬期間を含めた厳しい自然環境等が都市の連携や交流を阻害する要因となっており、圏域内外の交流や人々の暮らしに大きな影響を与えている。 投資効果を最大限発揮するため、ミッシングリンクの解消等を進め、日本海側と太平洋側が連携した格子状骨格道路ネットワークの強化を図る。
地域経済・地域社会等	<ul style="list-style-type: none"> 冬期交通環境の悪化により企業は、製造品等の輸送が困難になるなど、経済活動に支障をきたしている。 青森県は周遊観光に向け津軽自動車道を主軸とした津軽半島周遊道路ネットワークを策定しており、観光振興を支援する道路ネットワークが必要。 	<p>※津軽半島周遊道路ネットワーク（H29.2）</p> <ul style="list-style-type: none"> 津軽自動車道は、最大の交通拠点となる青森市方面から速達性を担う最重要路線。 道路ネットワークの機能強化により、観光・交流を通じた津軽半島地域の持続的な発展に期待。
その他		

事業の有効性									
<p>当該区間の整備により、主要拠点間のリンクの評価がCランク→Bランクに改善するとともに、ネットワーク全体の防災機能が強化される。</p> <p>また、冬期の交通環境悪化時にも機能するネットワークが構築され、観光振興や地域産業、救急医療活動の活性化を支援するなど、有効性の高い事業と評価する。</p>									
道路ネットワークの防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度（防災機能ランク）		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	五所川原市	西津軽郡 鱒ヶ沢町	6 (4)	0.88 (C) [1.00 (D)]	0.18 (B) [0.02 (B)]	▲91.09 (▲87.31)	0.07 (0.08)	0.72 (1.00)	◎

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> 計画段階評価手続き完了（H29.3）

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は浪岡IC～鱒ヶ沢ICを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果